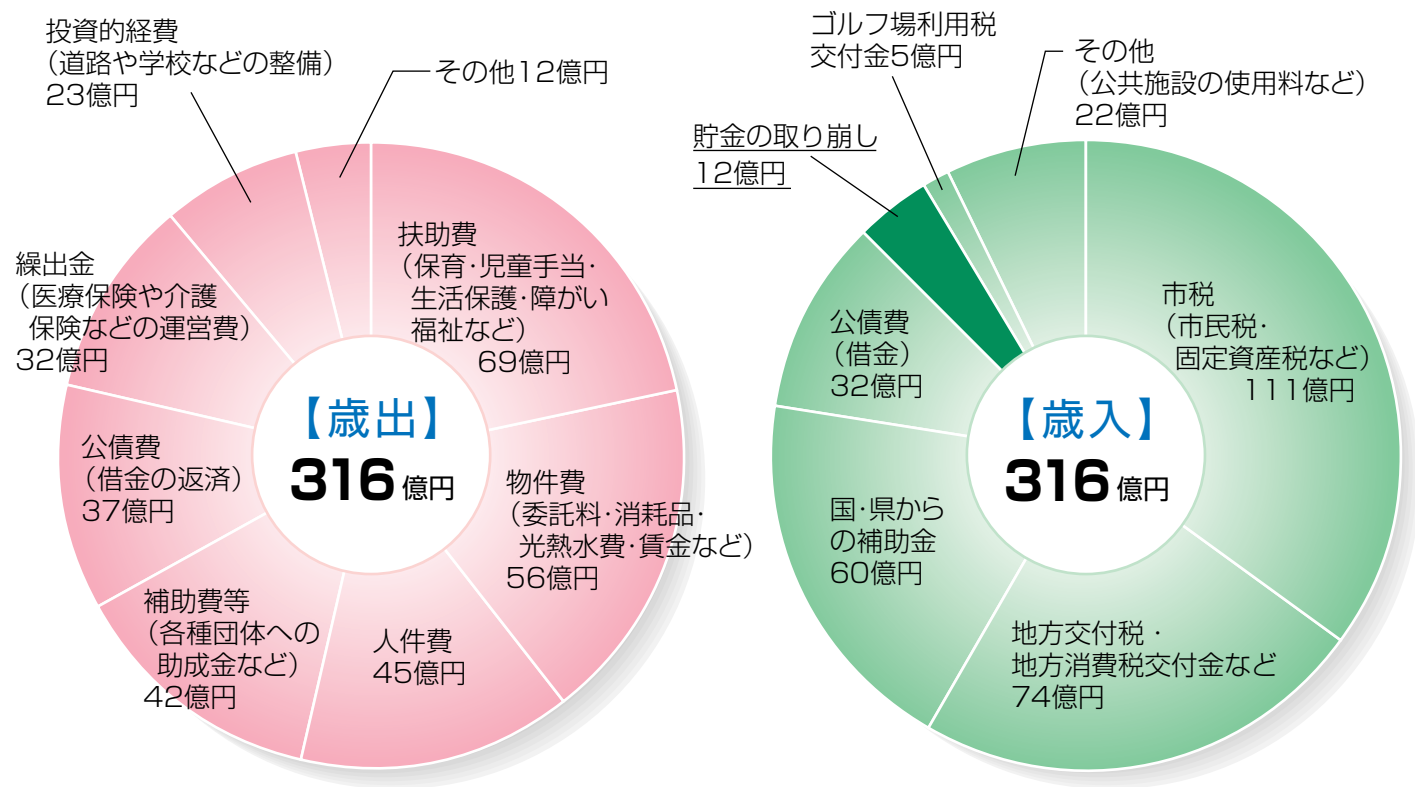


平成30年度予算の内訳(一般会計)



【参考】 基金(貯金)残高54億円、市債(借金)残高395億円 ※いずれも平成29年度末見込み

平成30年度の主な事業(一般会計)

平成30年度の主な事業について、「三木創生への5つの基本方針」に沿って紹介します。

新 新規事業 拡 拡充事業 継 継続事業

1 教育環境の整備・充実

- 新 文化会館の改修・・・2億9,060万円
文化会館大ホールの舞台照明装置の更新やトイレの洋式化
- 新 学校施設「長寿命化計画」の策定・・・2,330万円
老朽化する校舎の改修計画を策定
- 新 情報教育設備の更新・・・2,163万円
- 拡 特別な支援が必要な子どもたちの指導補助員を増員
・・・7,470万円
- 継 小学1年生からの「話せる英語教育」を推進・・・5,369万円



平成30年度は、「誇りを持って暮らせるまち三木」の創造に向けたスタートの年です。
今年度予算は「三木創生への5つの基本方針」に基づき、新たなまちづくりの第一歩を踏み出すための予算としています。

平成30年度予算の規模

区分	平成30年度 当初予算 (A)	平成29年度 当初予算 (B)	対前年度比	
			増減額 (A-B)	増減率 (A/B)
一般会計	316億1,000万円	308億8,000万円	7億3,000万円	2.4%
特別会計				
国民健康保険	100億 400万円	118億8,200万円	△18億7,800万円	△15.8%
介護保険	69億7,300万円	67億2,600万円	2億4,700万円	3.7%
農業共済事業	9,800万円	7,700万円	2,100万円	27.3%
後期高齢者医療事業	11億8,400万円	11億3,800万円	4,600万円	4.0%
学校給食事業	2億8,900万円	3億 300万円	△1,400万円	△4.6%

平成30年度当初予算の概要

「誇りをもって暮らせるまち三木」の創造に向けて
市財政課

幹部慰労会問題に関する 一連の不祥事のお詫び

このたび、平成30年度当初予算の概要をお示しするに当たり、市民の皆様、前市長主催の幹部慰労会問題に関する一連の不祥事について、この場をお借りしてご報告とお詫びを申し上げます。

これら一連の処分を検討するに当たっては、任命権者の恣意的な判断を排除し、厳正かつ公正な処分とするため、大学教授1名と弁護士2名を含む市の第三者機関である三木市職員賞罰審査委員会に処分の内容の審査を求めました。委員会は計6回開催され、慎重なる審議を重ねていただき、その結果を受け、任命権者である市長として、3月12日に関係部長級職員7人全員を「戒告」の懲戒処分いたしました。更には、3月の市議会定例会において、市民公開の議場で謝罪をさせ、真の反省を促したところであります。

また、関係職員については、置かれた立場と職責を今一度見つめ直し、職務にまい進すること、市民の皆様に対し地道な信頼回復を図ることが、汚名返上の唯一の手段であると考えます。今後は、このような不祥事を二度と起こさぬよう、職員の綱紀粛正に全力で取り組むとともに、これを契機に、風通しが良くこれまで急激な職員の減少で弱体化した市役所の組織の立て直しを図ってまいります。

平成30年5月1日
三木市長 仲田 一彦